

保護者の皆様

枚方市立西長尾小学校  
校長 松村光庸

## 令和7年度「学校教育自己診断アンケート」の結果について

仲春の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は本校の教育活動にご理解ご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、12月に実施いたしました学校教育自己診断アンケート結果について、下記のとおりお知らせいたします。この結果をもとにこれからの学校運営をより良いものにしてまいりますのでよろしくお願いいたします（全体のアンケート集計結果はグラフにして裏面に掲載していますのでご参照ください）。ご協力いただきましてありがとうございました。

## 記

## 1. 調査回答率

児童 77.6% (273名/352名) 保護者 56.0% (197名/352名)

2. 結果の概要と分析（※ アンケートは「そう思う」を1とし、「そう思わない」を4とする4段階評価の選択としています。結果の特徴をとらえやすくするため1及び2を肯定的評価、3及び4を否定的評価として表現しています。）

これまでの効果的な取組みを継続しつつ、学校教育目標を新たに「主体性と当事者意識を持って学級や学校を自治することを目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者となる児童を育成する。（楽しいものをつくる 大人を目指して）」と設定し学校運営を続けて参りました。

今年度は、文部科学省の学習指導要領において「学びに向かう力・人間性」という柱の一つである「非認知能力」（西長尾小学校で育てたい7つの力＝①自制心、②忍耐力、③向上心、④自尊心、⑤協調力、⑥受容・共感力、⑦相互理解力）を育むことを全教職員が意識した指導に力を入れてまいりました。そして、校内研究テーマ「非認知能力を育む授業改善の手立ての研究」～成長の見取り方の育成～と題して、日々実践を続けて参りました。

昨年度に引き続き、子どもたちに、人と人が関わり合うことの良さや、協働して活動することで生み出されるものの価値の高さを感じさせることをねらいとして、全学年で、演劇的手法を生かした授業も継続しました。

その結果、非認知能力に関係する項目は、肯定的回答が安定しており、より普段の学校生活に生かすことができたことが伺えました。

## 【主な共通項目について】

	対象	設問内容	肯定的
1	児童	学校に行くのが楽しい	96.0
	保護者	子どもは学校に行くのを楽しみにしている	90.9
2	児童	先生は自分たちの意見や考えを大切にしてくれる	98.2
	保護者	先生は子どもの意見や考えを大切にしている	96.9
3	児童	落ち着いた雰囲気の中で授業をうけることができる	94.5
	保護者	学校は、落ち着いた雰囲気の中で授業を行っている	98.0
4	児童	授業はわかりやすい	96.3
	保護者	先生はわかりやすい授業づくりに努力している	99.0

まず、「上記の項目1」につきましては、昨年度に引き続き「学校に行くのが楽しい」という児童が90%を超えました。今後も、全ての児童にとって「楽しい」といえる学校づくりに、取り組んでいきます。

次に【保護者用アンケートについて】の

項目2「先生は子どもの意見や考えを大切にしている」、項目3「学校は落ち着いた雰囲気の中で授業を行っている」、項目4「先生はわかりやすい授業づくりに努力している」について、児童結果とともに高い肯定的回答をいただいていることは、児童と教職員の信頼関係が一定築かれていると受け止めています。

一方で、「子どもは家で、自分で計画を立てて学習している」が44.2%（「そう思う」11.7%）、  
「子どもは家で、『学習』の時間を決めている」が43.9%（「そう思う」15.3%）、  
「子どもは家で、学校の授業の復習をしている」が46.4%（「そう思う」14.8%）、  
と家庭における児童の肯定的回答に、まだまだ伸び代が多く見られます。

しかしながら、【児童用アンケート】の

「家庭での学習（宿題）は、学校の授業とつながっていると思う。」の肯定的回答が94.9%と高く、  
児童が学校での学習は家庭学習につながっていると知ってはいるものの、家庭では実際に主体的に生かして  
きれていない傾向が見られます。

そのため、学校は、より自律して学習ができる経験を見童に増やす必要があると考えています。

具体的には普段の授業において、実際に自分で計画を立てて学びを進める体験を増やす  
ことです。計画通りに進まない場合には、計画を見直すといった経験も必要だと感じてい  
ます。これは、今後ますます求められる力の育成です。ここ数年間同じような傾向が見ら  
れるものの改善が施されていないのは、本校としても課題に捉えています。

改めて、普段の授業から自分で学びを進める授業デザインの構築に校内で取り組みま  
す。そのためにも、子どもが主語となる児童に学びを委ねる授業展開が必要となります。

能力には認知能力とそれ以外の能力に大別することができます。本校では、非認知能力  
の定着を背景に、改めて認知能力育成に力を注ぐとともに、自分で学びを切り拓くことが  
できる能動的な学習者の育成に励んで参ります。

その他の課題として、「そう思う」（強い肯定的回答）の差が大きかった共通項目をお  
伝えします。これらの項目から、児童と保護者の感じ方を捉え、より必要な手立てとし  
て、授業改善、学校の取り組みなど、学校運営についてより具体的な発信を、学校だよ  
り、ブログなどで伝えて参ります。

共通項目の中で 「そう思う」（強い肯定）で差が大きいもの	児童「そう思う」 のみ(%)	保護者「そう思う」 のみ(%)	差 (保護者-児童)
読書（本を読む）	57.1	13.3	-43.8
いじめ・暴力のない学校環境	85.0	51.0	-34.0
学校が楽しい	82.4	65.0	-17.4
自分の良さについて（自己肯定感）	49.5	61.7	12.2
相談のしやすさ	59.3	71.1	11.8
授業の分かりやすさ	75.5	82.7	7.2

### 3. 学校教育をより良くするためのご意見欄にご記入いただいた事項について

建設的なご意見を多数お寄せいただきました。下記のとおり、おもなご意見への回答をお示します。ご協力ありがとうございます。

#### 【授業関連】

・学校教育がどうなのかあまり見えていないのでなんとも言い難いです。

→学校だより、ブログ、学年だより、学級懇談会などでより具体的な発信を続けて参ります。

・もっとわかりやすく勉強をさせてほしい。

→学びへの相談は、学級担任等へもお伝え下さい。工夫改善しながら、出来るだけ多くの児童が分かりやすく学べるように努めて参ります。

・あまりタブレットの必要性を感じないので、学校内だけでの使用でいいのでは?と感じます。毎日持ち歩くのも荷物になるので必要な時以外は学校での保管を希望しています。

→自分でタブレットを活用して学びを進めることを推奨しています。ご理解下さい。

・タブレットを勉強以外のことで使用しないようにもう一度児童に指導してほしい。これはいい、これはだめと分かりやすく説明してほしい。

→毎月1回タブレットの使用方法について振り返る時間を確保しています。今後も、勉強以外でタブレットを使用することはいけないことを啓発いたします。

・授業の進行速度がゆっくりな為、得意な子には退屈を感じる事が多いようです。与えられた問題が終わった後各々、タブレットを活用しさらに習熟出来るような問題、又はその内容が次へと繋がるはずなので、次の準備を踏まえた内容に取り組みられるようになればいいなと思いました。

→得意な子には授業が退屈に、不得手な子には授業が重荷になることが考えられます。また、教科によって児童によって、その得手不得手は異なっています。今後も、出来るだけ児童一人ひとりに合った学びが出来るように校内でも授業デザイン構築に取り組みます。しかしながら、一斉の活動、グループによる活動、個別による活動など活動に緩急をつけて授業を進めることには変わりません。ご理解ください。

・運動会でいつも思っていたことですが。かけっこに順位をつけなくなっているのはいいのですが、早い子遅い子を混ぜて走らせているのに反対です。あれだと、頑張っても遅い子は早い子に到底勝てません。タイムが近いもの同士で競わせる方が、頑張れば勝ると子どももやる気が上がるのではないですか？

→運動会の種目によっては児童が得意なものあればそうでないものもあると考えられます。全員参加の大きな目的を達成する上では、頂いたご意見を取り入れることも一理あると考えています。

・修学旅行について(一部抜粋)

感染症に対する取り決めをもっときっちりして欲しかった。他の小・中学校、自治体含め色々聞いたり調べたりしましたが、旅行の1週間前に発熱したら必ず医療機関の診断を受けるとか、前日に熱がでたら参加を自粛するとか、あらかじめ学校側からルールを提示しているところがありました。参加したい子供の気持ちも行かせてあげたい親の気持ちもわかります。

インフルエンザは命に関わる病気です。そのことを忘れないで欲しいと感じました。

→学校といたしましても、改めて校外学習・修学旅行などの宿泊行事前のルール及びご協力について提示及び啓発に努めます。

原則、学校としましては、登校している児童については、保護者の責任のもと体調が良いと判断して学校に送り出していると判断しています。

## 【学校との関わりについて】

(登校班)・登校班の学校到着が遅くバタバタみたいなので余裕をもって朝の準備、朝学習ができるように集合時間を早めてもらえたらと思います。

→登校時間は、8:10~8:20としています。大半は8:10前後に到着しています。今後の地区児童会で改めて子ども達に啓発いたします。尚、学校に到着後、正門前で友達を待っていたり、休憩したりしている状況が頻繁に見られるため、次年度より、学級にすぐに行くように指導いたします。

尚、教職員の勤務開始時間は8:30です。子ども達の登校時間8:10前後は、出勤している教職員も多くはありません。今後も、子ども達の様子を見て声掛けをして参ります。

(保健室)・1年生、慣れる保健室1人で行かせないで欲しい。

→新入生が、教室配置を分かるようになるまでは、1人の行動は自粛しています。今後も、児童に丁寧に答え出来るように、教職員一同、共有いたします。

・(連携)LINE @のように、チャット感覚で情報の共有や先生方や学校側との対話や質問ができれば、ありがたいです。

→学校への質問・問い合わせがあった場合、内容によっては即答できない事案があります。その際は、校内で会議を持ったり、回答内容を吟味したりする必要のものもあります。そのため、LINEでのやりとりは今後も行わない予定です。ご理解下さい。

・(PTA)PTAのコラボフェスティバルに来て頂く方々のお話や出前授業のような取り組みに、もっと子どもたちに触れる機会を設けてほしいと思います。これからも続けて頂きたい。

→令和8年度からのPTAは、会員数減少に伴い、今まで以上の活動は難しいため、一旦コラボフェスティバルは中止となります。今後の活動にご期待ください。

・(健康)食育の実施食べるもので、体ができていることや睡眠、運動の必要性、基本的な生活習慣が大切なこと、子供だけでなく、親にも伝えていくことが大事だと思います。心身の健康があってこそ、学ぶことができます。

→保健便りでも同様のことを授業されています。学校からの発信も継続していきます。

・異学年と何かに取り組んだりする等、様々な違う年齢との交流を通して、子ども達の成長のきっかけになる様な取組があれば素敵だな、と思います。

→授業では、各学年ともに学期に1回以上は異学年交流をしています。どの交流もとても温かい声掛けが見られます。どの機会も子ども達にとっては大変効果があると感じています。今後も継続します。

## 【感謝の声】

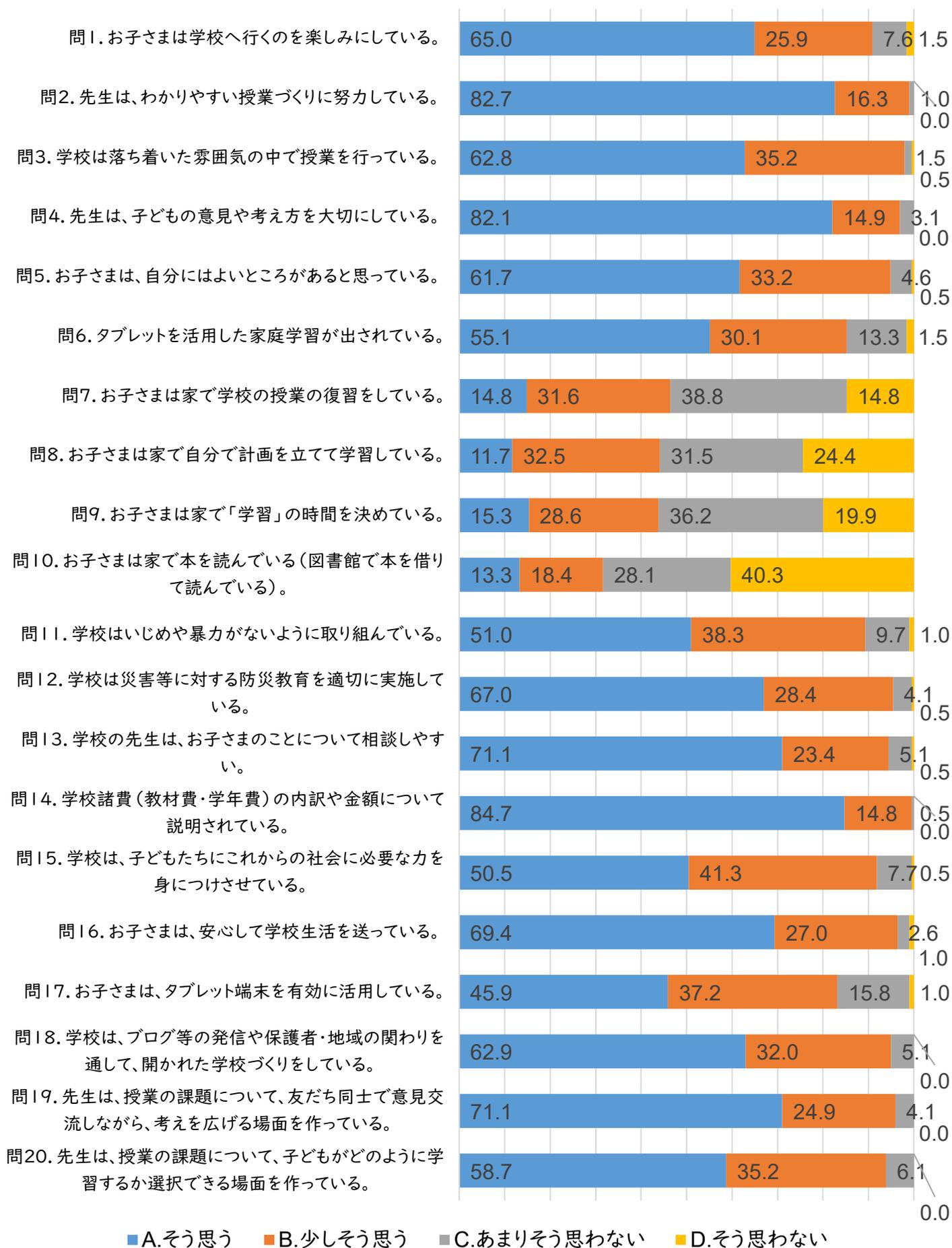
・担任の先生方には本当に良くして頂き、ありがとうございます。/・各学年の取り組みの課題が多くて、先生方の生活時間が心配です。/・先生方の課題が多くて大変だろうなとおもいます。/・又授業中、教科書に書いてある内容ではないけれど関係する雑学を先生が話されると、その内容をよく覚えていて家で話してきます。そこから、この時にこんな話をしているこんな勉強をしたと芋づる式に思い出す様子があるので、教科書にのっていない雑学、体験談は有効な定着の手段だと思いました。

## 5. 終わりに

アンケート結果は、全教職員で共有し、来年度に向け、より良い学校をつくるために活用いたします。今後とも、学校への変わらぬご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

## 学校教育自己診断アンケート(保護者)

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



## 学校自己診断アンケート(児童用)

